記事

[Hiroshi Sato](#) · 2020年11月23日 2m read

ルーチンをインポート/エクスポートするAPI

これはInterSystems FAQ サイトの記事です。

1. エクスポートAPI

a. ルーチンを個別に指定してエクスポートする場合は、`$system.OBJ.Export()` を使用します。

例:

```
do $system.OBJ.Export("TEST1.mac,TEST2.mac","c:/temp/routines.xml",,.errors)
```

指定する形式は ルーチン名.拡張子 で、拡張子は mac,bas,int,inc,obj を指定します。

エクスポート中のエラーは errors に格納されます。

`$system.OBJ.Export()` の詳細はクラスリファレンス `%SYSTEM.OBJ` を参照してください。

b. ワイルドカードを使用してエクスポートする場合にも、`$system.OBJ.Export()` を使用します。

例:

```
do $system.OBJ.Export("*.mac",c:/temp/allmacroutines.xml")
```

バージョン2008.1より前では、`$system.OBJ.ExportPattern()` を使用します。

2. インポート方法

a. ファイルに含まれる全ルーチンをインポートする

ファイルに含まれる全ルーチンをインポートするには `$system.OBJ.Load()` を使用します。

例:

```
do $system.OBJ.Load("c:/temp/routines.xml",,.errors)
```

b. ファイルに含まれるルーチンのうち一部のみをインポートする

XMLファイルに含まれる一部のルーチンのみ選択してインポートする場合、一旦`$system.OBJ.Load()`で、第5引数の `listonly` を 1 に設定してXMLファイルを読み込み、第4引数（出力引数）で得られたリストからインポート対象を選択して第6引数で指定します。

例:

```
Set file="c:/temp/routines.xml"  
// まずXMLに含まれるアイテム一覧を取得  
Do $system.OBJ.Load(file,.,errors,.list,1 /* listonly */)   
Set item=$Order(list(""))  
Kill loaditem  
While item="" {  
  If item["Sample"] Set loaditem(item)="" { // Sample を含むもののみインポート  
    Set item=$Order(list(item))  
  }  
}
```